

■LEDユニットについて

- 光束維持時間は40,000時間です。  
光束が70%以下になるか、不点灯になるまでの時間で、照明器具の保証寿命とは異なります。
- LEDのみの交換はできません。
- LEDは輝度が高いため、直視しないでください。
- LEDにはバツキがあるため、同一型番でも発光色、明るさが異なる場合があります。ご了承ください。
- 電源ON時にスイッチが点灯する表示付スイッチに使うと、表示が暗くなったり点灯しないことがあります。
- LEDの短寿命の恐れがあるため、直接日光が当たる時間帯は点灯しないでください。

- 器具のお手入れ △注意 器具のお手入れの際は安全のため電源を切ってください。感電の原因になります。
- 明るく安全に使用していただくために6ヶ月に1回程度の清掃・点検をしてください。
  - 器具の汚れは乾いた柔らかい布か薄めた中性洗剤を浸透させた柔らかい布をよく絞ってから拭き取ってください。
  - シンナーやベンジンなどの揮発性のもので拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。また、薄めた中性洗剤を使用した場合は、洗剤が残らないよう、よく拭き取ってください。変質・故障の原因になります。

お客様ご相談窓口のご案内

修理・お手入れ・お取り扱い・工事などのご相談は、まずお買い求めの販売店・工事店へご相談ください。  
(ご購入商品やご来店などでお買い求めの販売店・工事店へ依頼にならない場合は型番をご確認の上、下記へご連絡ください。)

製品・お取り扱いなどのご相談は  
お客様相談室

ナビダイヤル  
(全国共通番号) 電話 0570-055123

受付時間：9:00～17:00  
(土曜日、日曜日、祝日、年末年始、夏季休暇を除く)

修理・アフターサービスのお問い合わせは  
サービスセンター

ナビダイヤル 電話 0570-015123  
FAX 0570-025123

受付時間：9:00～17:00  
(土曜日、日曜日、祝日、年末年始、夏季休暇を除く)

●ご注意：所在地、電話番号、受付時間などが変更になる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

愛情点検

★長年ご使用の照明器具の点検を！



ご使用の際  
このような  
症状は  
ありませんか

●スイッチを入れても、時々点灯しないときがある。  
●フラグ、コード、本体を動かすと点滅する。  
●フラグ、コード、本体などが異常に熱い。  
●こげくさい臭いがする。  
●コードに傷や腐みが見られる。  
●グローブ、セードなどにひびが見られる。

→

ご使用  
中 止

故障や事故防止のため、電源  
スイッチを切り、必ず販売店  
に点検、修理を依頼してくだ  
さい。

安全に  
関する  
ご注意

●照明器具及び関連機器には耐用年限があります。設置して8～10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。点検・交換をお  
すすめします。(周囲温度30℃、1口10時間点灯、年間3000時間点灯の場合)  
●周囲温度が高い場合や点灯時間が長い場合は、耐用年限が短くなります。  
●3年に1回は、工事店などの専門家による点検をお受けください。点検せずに長期使用し続けると、まれに、発煙、発火、感電などに至る恐れがあります。

コイズミ照明器具 保証書

※お客様へ 保証書の記載内容をよくお読みいただき、販売店様発行の領収書と  
合わせて大切に保管してください。

<保証について>

1. 取扱説明書、本体添付ラベルなどの注意書きに沿った使用状態で保証期間内に  
故障した場合には、無料修理させていただきます。  
2. 保証期間は製品お買い上げ日より1年間です。但し、LED電源、LEDモジュ  
ール、LED電球は3年間です。  
3. グロー点灯管、電池などの消耗品は、対象外となります。  
4. 24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は上記の半分の  
期間とします。  
5. 保証期間でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。  
(1)使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷  
(2)お買い上げ後の取り付け場所の移動、落下などによる故障及び損傷  
(3)火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、異常電圧、指定外の  
使用電源(電圧、周波数など)による故障及び損傷  
(4)車両、船舶などに搭載された場合に生ずる故障及び損傷  
(5)施工上の不備に起因する故障や不具合  
(6)法令、取扱説明書で要求される保守点検を行わないことによる故障及び  
損傷  
(7)保証書及び領収書あるいは販売店様発行の保証書のご提示のない場合  
6. 保証書は日本国内においてのみ有効です。  
7. 保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

※This warranty is valid only in Japan.

保証期間(お引き渡し日より)本体：1年間 LED電源/モジュール/LED電球：3年間

お買上年月日

お名前

ご住所

電話 ( )

取扱販売店名・工事店名・住所・電話番号

# KOIZUMI コイズミ照明器具

施工取扱説明書

型番 AU50485・AU50486・AU50487・AU50488・AU50489・AU50490

お客様へ

器具の取付けの際、電気工事は工事店・電器店へ依頼してください。  
一般の方の電気工事は法律で禁止されています。

保存用

工事店様へ

施工前には、この説明書をよくご覧の上、正しく施工してください。  
この説明書は必ずお客様へお渡しください。

## 【安全上のご注意】

警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると  
死にまたは重傷を負う可能性が想定される内容です。

！  
厳守

器具の取付けは、説明書に従い確実に行なってください。  
→器具の取付けに不備があると火災・感電・落下に  
よるけがの原因になります。

禁止

この器具は防雨型です。浴室・サウナ風呂などの高温多  
湿な場所では使用できません。→火災・感電の原因にな  
ります。  
この器具は耐塩仕様ではありません。塩害が発生する  
可能性のある地域では使用しないでください。→早期  
に錆、腐食などが生じ、落下によるけが・感電・故障の  
原因になります。  
このような場所には取付けしないでください。  
この器具は天井取付専用器具です。傾斜天井・壁などに  
は取付けできません。不安定な場所やベニヤ板などの  
強度の弱い場所、使用後のネジ穴には取付けないう  
でください。→器具の落下によるけがの原因になります。

！  
アース工事

アース端子(線)がついている器具は必ず電気設備の技  
術基準に従って、接地(アース)工事を行ってください。  
→アースが不完全な場合、感電の原因になります。

！  
厳守

タイル面などの取付面に凹凸がある場合はすきまを埋  
めてください。本体バックシンと取付面と  
のすきまを防水シールなどで埋めてくだ  
さい。→火災・感電の原因になります。  
バックシン外周部にもシール剤を  
塗りつけてください。  
表示された電源電圧(AC100V)以外の電源で使用し  
ないでください。→火災・感電の原因になります。  
異常を感じた場合は、速やかに電源を切ってください。  
→放置しますと火災・落下によるけがの原因になりま  
す。工事店・電器店にご相談ください。

！  
分解禁止

器具を改造したり、部品を追加・変更して使用しな  
い  
でください。→火災・感電・落下によるけがの原因に  
なります。

注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると  
傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容です。

！  
接触禁止

点灯中や消灯直後は器具が高温のため触らないでくだ  
さい。→やけどの原因になります。

！  
禁止

ライトコントロールなどの調光器との併用はできませ  
ん。→火災の原因になります。調光器の取外しが必要  
です。調光器の取外しには資格が必要です。工事店・  
電器店に依頼してください。  
ガス機器など、温度が高くなるものの上への取付けや、  
器具の下にストーブなどの高温のものを置かないでく  
ださい。また、燃えやすいものを近づけて使用しな  
い  
でください。→火災の原因になります。  
使用条件と異なる環境で使用すると、合成樹脂材料の  
変色が進められる場合があります。

！  
厳守

照明器具の耐用年限は、使用条件、使用環境で異なりま  
すが、一般的な使用状態で8～10年が目安です。  
数年に1回は、専門家(工事店・電器店)による点検を  
実施していただき、不具合がありましたら適切な処置を  
施してください。→放置すると、火災・感電・故障の  
原因になります。  
器具と被照射面の距離は器具表示および説明書に従  
って、ドア開閉範囲や家具などの可燃物が近づかないよ  
うに取付けてください。→照射距離が制限より近ず  
ると被照射物の変質・変色または焼損による火災の  
原因になります。  
照明器具の耐用年限を越えた長期使用や異物混入のま  
ま使用しないでください。  
照明器具の耐用年限を越えた長期使用により、合成樹  
脂材料の変色・黒化に至る場合があります。黒化は、  
経年劣化(周囲温度、湿度、紫外線、ほこりや虫などの付  
着部への光の集中等)による変色・黒化です。焼燃現象  
ではありません。

■定格

| 型 番                     | 定格電圧   | 入力電流  | 消費電力  | 使用ランプ |
|-------------------------|--------|-------|-------|-------|
| AU50485・AU50486・AU50487 | AC100V | 0.20A | 10.1W | LED   |
| AU50488・AU50489・AU50490 |        | 0.15A | 6.2W  |       |

※センサ待機モードで消灯している場合、約1Wの電力を消費します。  
※長時間使用しない場合、壁スイッチをOFFにしてください。

■施工前の確認

1 器具重量に耐えられるよう、取付部の強度を確保する

2 設置場所を確認する

- ・下図のような場所には取付けない。  
誤作動の原因になります。

|                                                                                  |                                                         |                                          |
|----------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------|------------------------------------------|
| 車のヘッドライトなど、強い光が直接センサ部に入る場所には取付けないでください。<br>                                      | 風などでよくゆれる植物などがある場所には取付けないでください。<br>                     | 感知エリア内に障害物のある場所には取付けないでください。<br>         |
| エアコンの室外機の近くには取付けないでください。<br>                                                     | 取付高さが3mを超える場所には取付けないでください。<br>                          | 不安定な場所や振動の激しい場所には取付けないでください。<br>         |
| 昼間でも暗い場所(木かげ・ひさしの下など)に取付けますと、早く点灯、遅く消灯することがあります。センサの感知エリアは、気象条件によりバラツキがあります。<br> | 夜間でも明るい場所(隣地や他の照明がセンサにあたる)への取付けはできません。点灯しないことがあります。<br> | 感知エリア内に車、小動物が入った場合にも反応し、作動することがあります。<br> |

・無線などによる電波障害で誤作動する場合があります。

3 器具と他の光源(負荷連動する器具も含む)は1m以上離して取付ける

誤作動の原因になります。

4 取付面が十分乾燥していることを確認する

器具や取付面の変色の原因になります。

5 メタルラス張り、ワイヤラス張り、金属板張りの造営物に取付ける場合

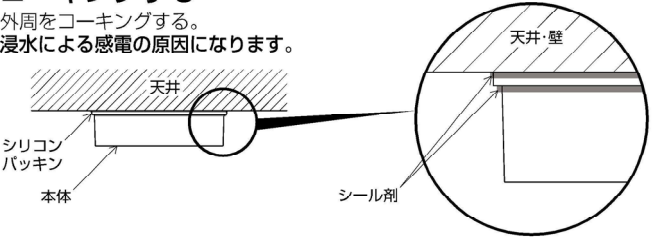
器具の金属部分と電氣的に接続しないように施工する。

6 自動点滅器(ディライトスイッチなど)との併用はしない

誤作動の原因になります。

7 コーキングする

外周をコーキングする。  
浸水による感電の原因になります。

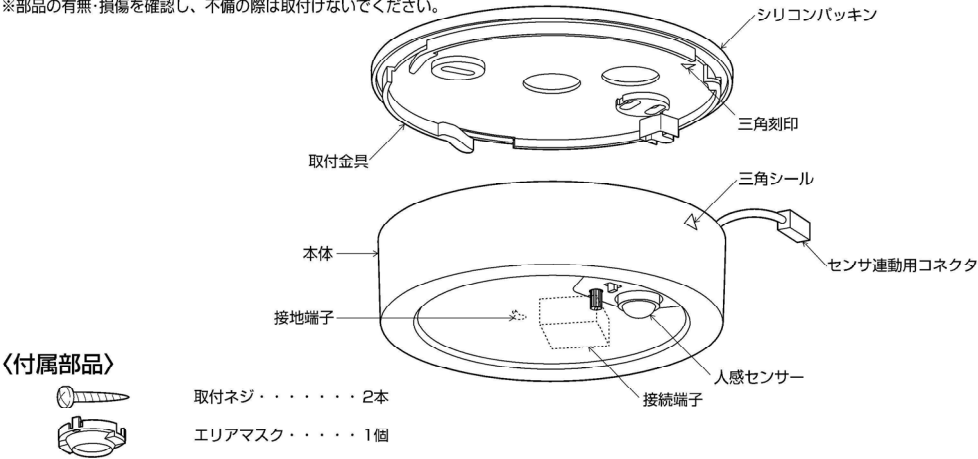


8 壁スイッチを設ける

誤作動時のリセットおよびモードの切り替えができません。

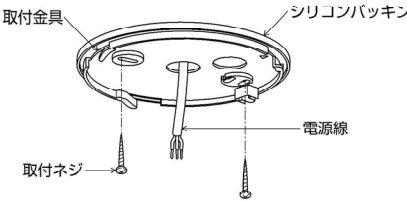
■施工手順 △注意 取付けの際は必ず電源を切ってください。感電の原因になります。

※この図は一部抽象化した共通部品図です。  
※部品の有無・損傷を確認し、不備の際は取付けないでください。



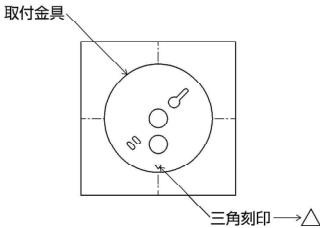
1 取付金具を取付ける

シリコンパッキン、取付金具に電源線を通し、取付ネジで取付ける。



2 取付金具の方向性について

取付金具を取付ける際、センサを向きたい方向と三角刻印の方向をあわせて取付けてください。



3 電源線を接続する

<センサ連動しない場合>

ストリップゲージに合わせて電源線の被覆をむき、接続端子に確実に差し込む。また、送り配線は照明器具専用とする。(送り総容量5A)  
はずす時は解除ボタンを押しながら電源線を抜く。

- ※センサ連動用コネクタは使用しません。
- ※D種(第三種)接地工事を行なう。

⚠ 警告 電源の接続を確実に行ってください。  
接続が不完全な場合や容量オーバーした場合は火災・感電の原因になります。

電源接続をする際は壁スイッチを必ず設ける。

注)スイッチは同梱されていませんので別途ご用意ください。

<センサ連動する場合>

ストリップゲージに合わせて電源線・送り配線の被覆をむき、接続端子、センサ連動用コネクタに確実に差し込む。また、送り配線は照明器具専用とする。

- ※接続端子だけの送り配線ではセンサと連動しません。
- ※極性を間違えるとセンサが破損します。
- ※D種(第三種)接地工事を行なう。

⚠ 警告 電源線・送り配線の接続を確実に行ってください。  
接続が不完全な場合や容量オーバーした場合は火災・感電の原因になります。

●電源線・送り配線をはずす場合  
接続端子の解除ボタンを押しながら電源線・送り配線を抜く。  
センサ連動用コネクタをねじりながら送り配線を引き抜く。再結線の際は、傷ついた送り配線を切り捨てて新しくおきなおしてから行ってください。  
曲がったり傷ついた送り配線は接触不良、または火災の原因になります。

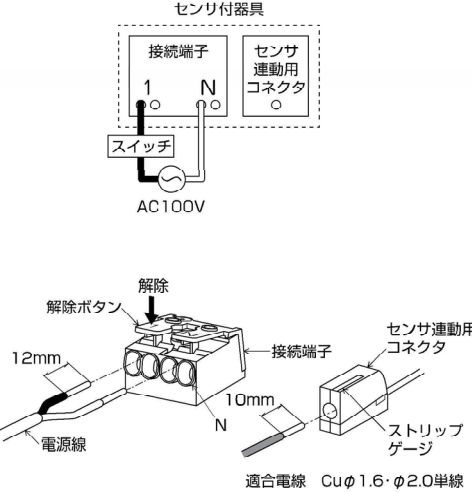
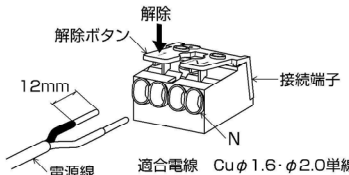
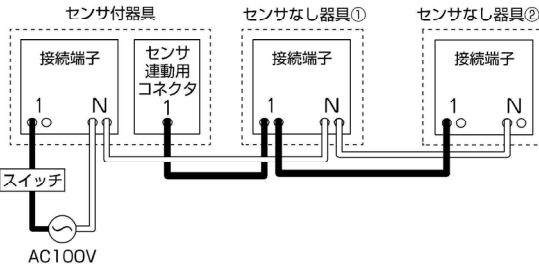
電源接続をする際は壁スイッチを必ず設ける。

注)スイッチは同梱されていませんので別途ご用意ください。

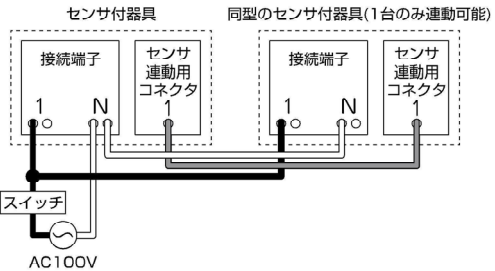
<センサ連動の配線図>

※極性を間違えるとセンサが破損します。

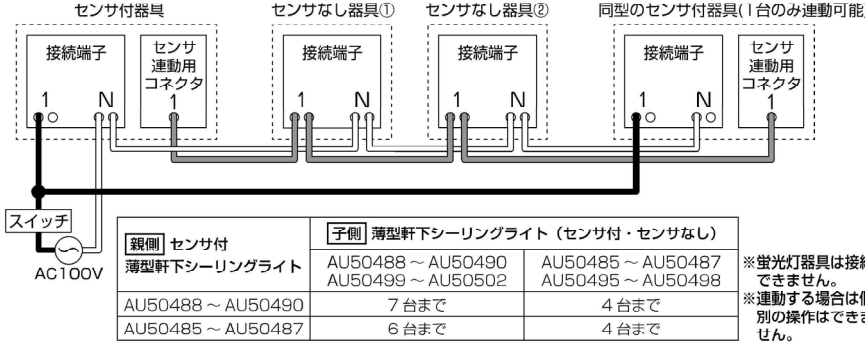
- 配線図1(センサ付器具+センサなし器具2台)



- 配線図2(センサ付器具+センサ付器具)



- 配線図3(センサ付器具+センサなし器具2台+センサ付器具)



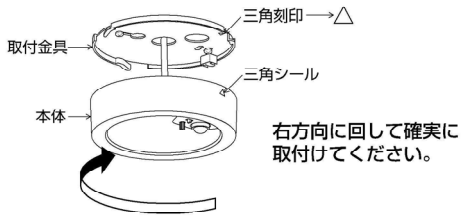
| 親側 | センサ付              | 子側                                     | 薄型軒下シーリングライト (センサ付・センサなし)              |
|----|-------------------|----------------------------------------|----------------------------------------|
|    | 薄型軒下シーリングライト      | AU50488 ~ AU50490<br>AU50499 ~ AU50502 | AU50485 ~ AU50487<br>AU50495 ~ AU50498 |
|    | AU50488 ~ AU50490 | 7 台まで                                  | 4 台まで                                  |
|    | AU50485 ~ AU50487 | 6 台まで                                  | 4 台まで                                  |

※蛍光灯器具は接続できません。  
※連動する場合は個別の操作はできません。

4 本体を取付ける

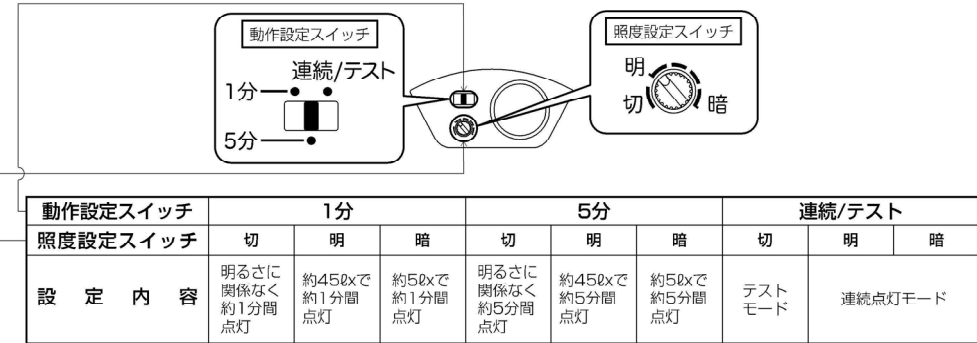
本体の三角シールを取付金具の三角刻印に合わせてはめ込み、押しつけながら右方向に回して確実に取付ける。

- ※本体が固定されたことを確認してください。
- ※取付面と本体の間にすきまが発生する場合があります。



5 点灯の確認を行なう

■センサの内容



| 動作設定スイッチ | 1分                         |                      |                     | 5分                         |                      |                     | 連続/テスト     |         |   |
|----------|----------------------------|----------------------|---------------------|----------------------------|----------------------|---------------------|------------|---------|---|
| 照度設定スイッチ | 切                          | 明                    | 暗                   | 切                          | 明                    | 暗                   | 切          | 明       | 暗 |
| 設 定 内 容  | 明るさに<br>関係なく<br>約1分間<br>点灯 | 約45lxで<br>約1分間<br>点灯 | 約5lxで<br>約1分間<br>点灯 | 明るさに<br>関係なく<br>約5分間<br>点灯 | 約45lxで<br>約5分間<br>点灯 | 約5lxで<br>約5分間<br>点灯 | テスト<br>モード | 連続点灯モード |   |

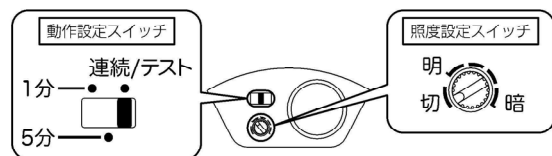
※センサが感知すると、設定した時間点灯します。(テストモード・連続点灯モードを除く)  
点灯中に再び感知すると、点灯時間は更新されます。  
※スイッチの設定を変更した場合、壁スイッチを一旦5秒以上OFFにしてからONにしてください。  
誤作動する場合があります。

## ■感知エリアの設定

テストモードでセンサの動作確認と感知エリアの確認を行なってください。

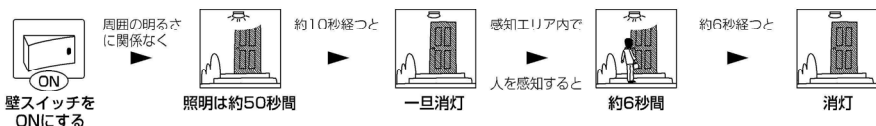
### テストモード

下図のように動作設定スイッチを「連続/テスト」に、照度設定スイッチを「切」に設定し、センサの動作確認と感知エリアの確認を行なってください。



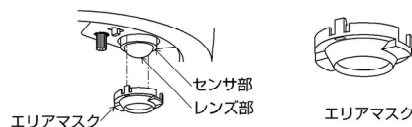
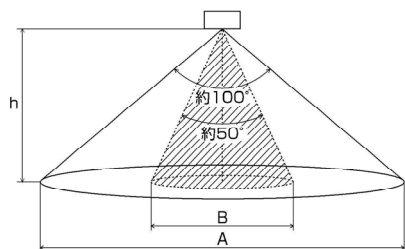
- ①電源投入後、約50秒間点灯し、その後テストモードになります。人を感知することに点灯時間が延長しますが、電源投入から約60秒後に一旦消灯し、テストモードになります。テストモードは人を感知することに約6秒間点灯します。結線および負荷の作動を確認できます。
- ②明るい時(昼間)でも人を感知することに約6秒間点灯します。

※点灯中に再び感知すると、点灯時間は更新されます。



## ●エリアマスクで感知エリアをせまくできます。

エリアマスクの凸部をセンサの凹部に「カチッ」と音がするまではめ込んでください。



□ エリアマスクなし  
 ■ エリアマスクあり

|   |     | A   | B     |
|---|-----|-----|-------|
| h | 2.0 | 5.0 | (2.0) |
|   | 2.5 | 6.0 | (2.5) |
|   | 3.0 | 7.0 | (3.0) |

※( )内はエリアマスク使用時

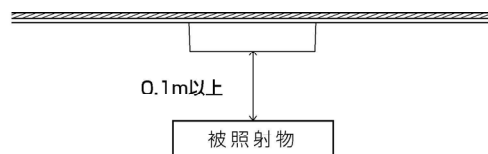
※センサに向かったの動作では感知しにくい場合があります。(約半分の距離になります。)

※感知エリアはセードの形状、気温、移動速度、進入方向、人の服装などにより変化しますので、あくまで目安としてください。

※エリア確認後は必ず■センサの設定を行なってください。

## ■照射距離について

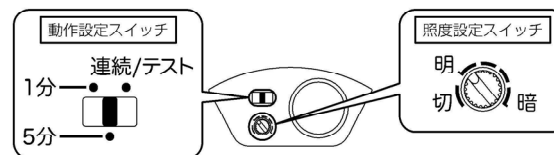
- 照射距離により被照射面が変色・変質する恐れがあります。被照射面との距離は0.1m以上離してください。



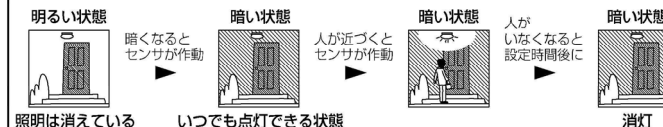
## ■センサの設定

ご使用の環境に合わせてセンサ部のスイッチで動作と照度を設定してください。

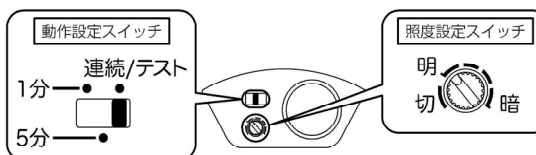
### センサ待機モード



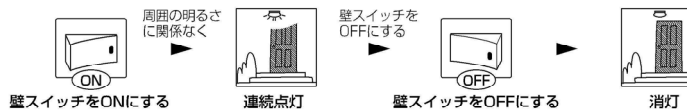
暗くなって人が来た時だけ設定した時間点灯  
 電源投入から約60秒後に一旦消灯し、センサ待機モードになります。



### 連続点灯モード



センサに関係なく壁スイッチの操作で連続点灯



※電源投入後、約50秒間点灯し、その後センサ待機モードになります。人を感知することに点灯時間が延長しますが、電源投入から約60秒後に一旦消灯し、センサ待機モードになります。(連続点灯モードを除く。)

※設定後、連続点灯モード以外は、壁スイッチをONにしたままご使用ください。

❗ 器具の取外しは工事店・電器店に依頼してください。→感電の原因になります。

## ■使用上のご注意

- 器具の近くでリモコン(コントローラ)を操作した場合、誤動作することがあります。器具とコントローラ受信部を離してご使用ください。
- 器具の近くや電波状況の弱い場所では音響製品に雑音が入る場合があります。器具と音響製品を離してご使用ください。
- 点灯および消灯後に器具構成材料の熱伸縮により若干のきしみ音が発生することがありますが、異常ではありません。
- 電源OFF時に表示が点灯するタイプのスイッチを使用する場合、壁スイッチの使用は4個までとしてください。壁スイッチを5個以上使用される場合は、表示が点灯するタイプ以外のスイッチを使用してください。